

城東地区 築瀬五丁目東自治会

「各種地域行事への参加とごみステーションの収集場所の工夫」

●加入世帯数：450世帯

●加入率：76.3%

活動内容

築瀬五丁目東自治会は、昭和6年町会を設立、昭和40年名称が自治会に変更された。

昭和51年築瀬から分離、東洋相互銀行東側の道路を東西自治会の境界とした。

昭和50年、城東小が設立され、各自治会長の尽力、昭和51年宇都宮市体育協会の趣旨により、地区民の健康増進と体育振興をはかるために、城東地区体育協会が設立。各種の活動が開始された。

築瀬五丁目東自治会は、城東地区連合自治会内で、一番大所帯となる自治会です。

現在は、自治会長や役員を中心に、体育祭、納涼祭、ソフトボール大会、バレーボール大会、文化祭行事等に力を尽くし、また、地域を住み良い街にと防犯灯の整備、地域の犯罪防止に役員が見回り巡回を実施している。

最近では、ごみステーションの鳥害被害が多く、対策とし、ステーションの削減統合と収集場所の整備に取り掛かり、場所の選択に奔走、宇都宮市ごみ減量課と相談し、小河川橋上の空いている場所に、生ごみの収集搬出保管に手作りのボックスに蓋を付け、収集

車が集め易くするため底は付けずに、ボックスを倒すだけで積み込めるようにし、鳥に散らかされる事が少なくなりました。また、住民の搬出マナーが守られていない場合には、使用者リストに回覧板方式で注意喚起を行っているところです。

今後は、お年寄りに優しい、対話と親切をモットーに思いやりのある自治会を築いて行きたいと思います。



加入率を維持する秘訣

新居住者と分かった時点で、建て主様、建築現場の社員さんに話しかけ、状況把握をはかり、加入促進の話をし加入についての話し合いを持てるよう努力している。

また、マンション・アパート・その他については、新年度入学、転校児童についても、自治会の案内、時には、電話や訪問での活動内容を説明し、地域との繋がりを進めながら加入促進をはかっています。